



ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社 2013年1月期 第1四半期決算補足資料

前年同期比 売上高:23.3%増、営業利益:40.6%増
アミューズメント機器デバッグや、
ソーシャルゲーム関連業務の受注が拡大
RMT、コンプガチャは、当社事業への直接的影響はなく、
2Q以降も堅調に推移予定

証券コード:3657

2012年6月12日

- 1. 2013年1月期 第1四半期決算概況 … 2
- 2. <参考>会社概要・事業内容 … 8
- 3. <参考>今後の事業展開 … 12

1-1. 2013年1月期第1四半期 連結業績概況

前年同期比 売上高:23.3%増、営業利益:40.6%増
アミューズメント機器デバッグ、ソーシャルゲーム関連業務が拡大

単位:百万円(単位未満切捨)

	【当期】 2013/1期 1Q実績 (2012.2-2012.4)		【前期】 2012/1期 1Q実績(注) (2011.2-2011.4)		前年同期比	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	2,340	100.0%	1,898	100.0%	442	+23.3%
営業利益	406	17.4%	289	15.2%	117	+40.6%
経常利益	439	18.8%	292	15.4%	147	+50.3%
四半期純利益	228	9.7%	164	8.7%	63	+38.7%

※比率については表示単位未満を四捨五入

(注)【前期】2012/1期1Qにおいては四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、社内管理数値による参考情報であります。

1-2. 2013年1月期第1四半期 セグメント別業績概況

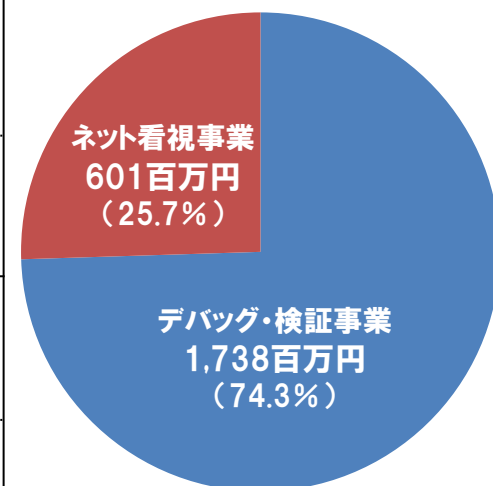


アミューズメント機器デバッグ、「グローバルナビゲート」サービスによるソーシャルゲームのデバッグ、海外展開向けローカライズが拡大
ネット看視は各種新規業務取り組みによるコスト増により減益

単位:百万円(単位未満切捨)

		【当期】 2013/1期 1Q実績	【前期】 2012/1期 1Q実績(注)	前期比
デバッグ・ 検証事業	売上高	1,738	1,314	+32.2%
	営業利益	393	237	+66.0%
ネット 看視事業	売上高	601	578	+4.1%
	営業利益	11	29	△62.3%

2013年1月期 1Q
セグメント別 売上高構成比
売上高合計 2,340百万円



※比率については表示単位未満を四捨五入

(注)【前期】2012/1期1Qにおいては四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、社内管理数値による参考情報であります。

1-3. 2013年1月期第1四半期 トピックス

デバッグ・検証事業

売上高 1,738百万円(売上構成比74.3%)

- アミューズメント機器メーカーが新機種投入を積極的に行ったことにより、**アミューズメント機器のデバッグが堅調に推移**
- 「グローバルナビゲート」サービス提供開始により、当社グループサービスの認知が向上、**新規取引増加し、ソーシャルゲームのデバッグ、ローカライズが増加**
- Pole To Win America, Inc.の**欧州支店Pole To Win Europeは、現地業務開始準備が整う。(5月より約20人体制でローカライズ業務開始。)**

ネット看視事業

売上高 601百万円(売上構成比25.7%)

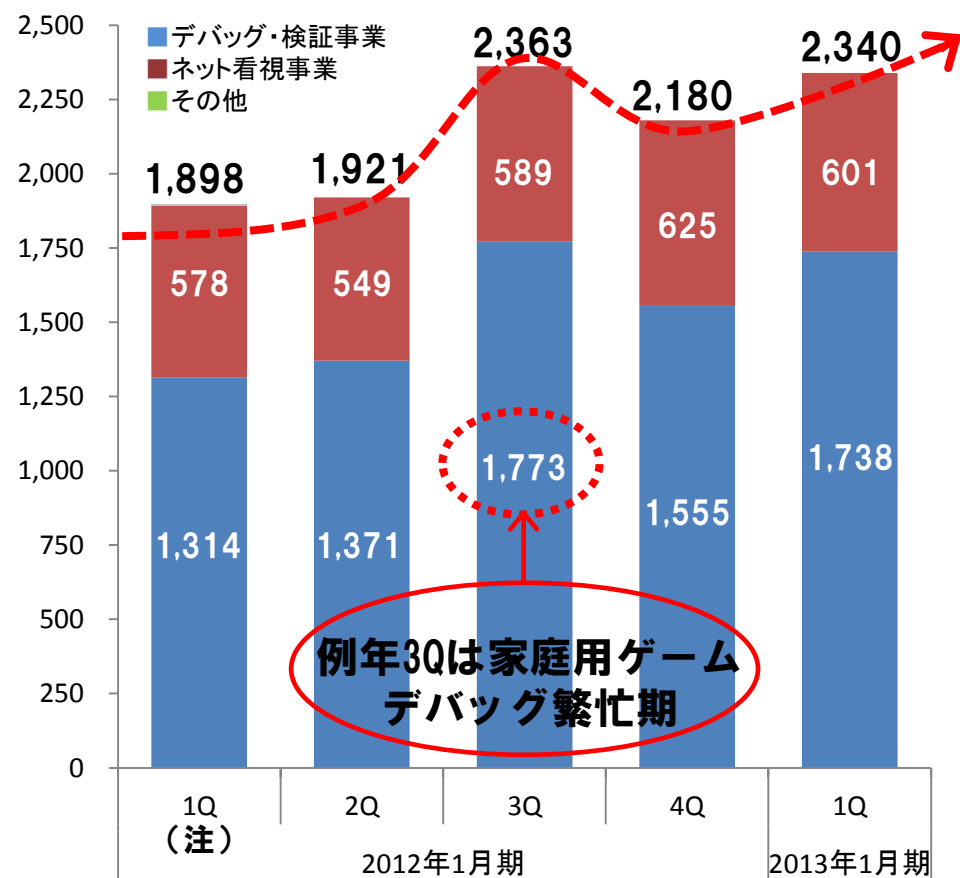
- 電子書籍やネット通販等**電子商取引**に関する**広告審査**や**ユーザーサポート**、**twitter、facebook**を利用したプロモーションの**運営サポートが増加傾向**
- 看視対象の業種拡大に向け、**トレーサビリティソフト管理システムを構築中**
- 顧客のグローバル化に対応し、**英語メールサポート業務を本格的に稼働**
- 大手広告代理店へ**広告審査システム**の提供を開始
- サイト不適切利用対策のための**ビッグデータ解析、データマイニング業務を受託**

1-4. 四半期業績推移(売上高・営業利益)

**幅広い業界に対して、各サービスがバランスよく成長しており、
前年同期比・前四半期比とも、売上高・営業利益が増加**

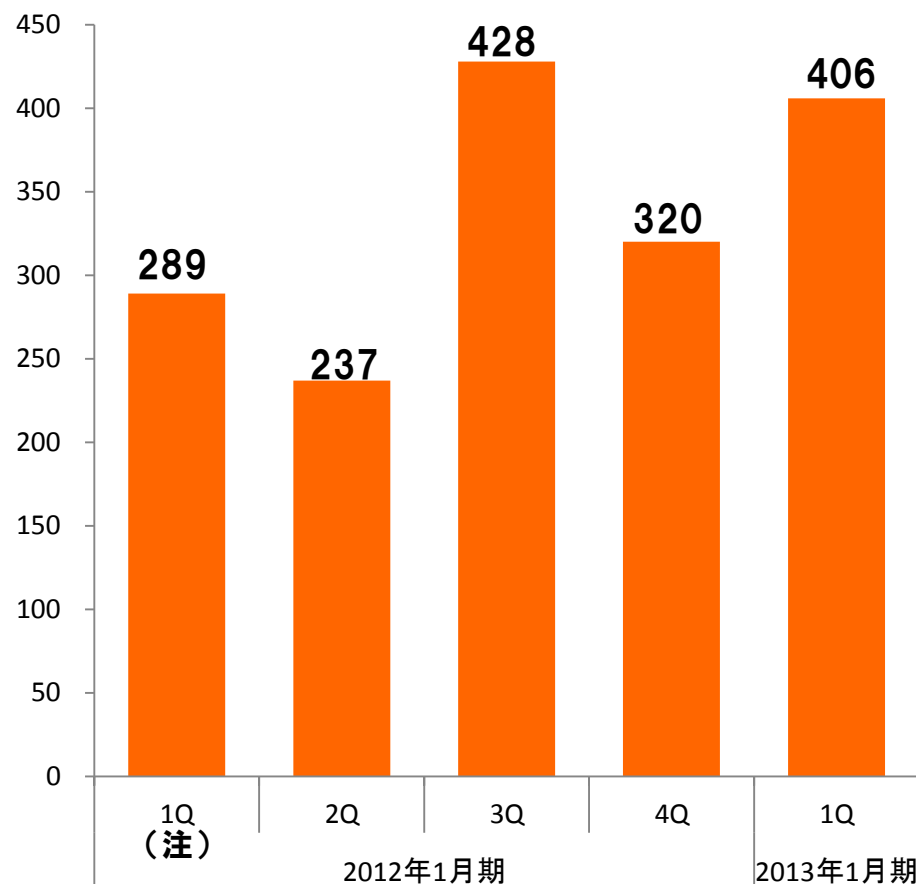
(単位:百万円)

売上高 四半期推移



(単位:百万円)

営業利益 四半期推移



(注)【前期】2012/1期1Qにおいては四半期連結財務諸表を作成しておりませんが、社内管理数値による参考情報であります。

1-5. 連結業績予想 進捗状況

2Q累計予想に対する進捗率は売上高55.8%、営業利益78.5%
RMT、コンプガチャの当社事業への直接的影響はないと予測
欧州業務開始等の事業拡大費用も見込みながら堅調推移予定

単位:百万円(単位未満切捨)

	2013/1期 第1四半期累計 実績	第2四半期(累計)		通期	
		予想	進捗率	予想	進捗率
売上高	2,340	4,193	55.8%	9,140	25.6%
営業利益	406	517	78.5%	1,350	30.1%
経常利益	439	517	84.8%	1,340	32.8%
四半期(当期) 純利益	228	283	80.5%	766	29.8%

※比率については表示単位未満を四捨五入

1-6. 財政状況 連結貸借対照表

**四半期純利益228百万円計上、配当金161百万円支払の結果、
利益剰余金66百万円増。自己資本比率80.0%**

単位:百万円(単位未満切捨)

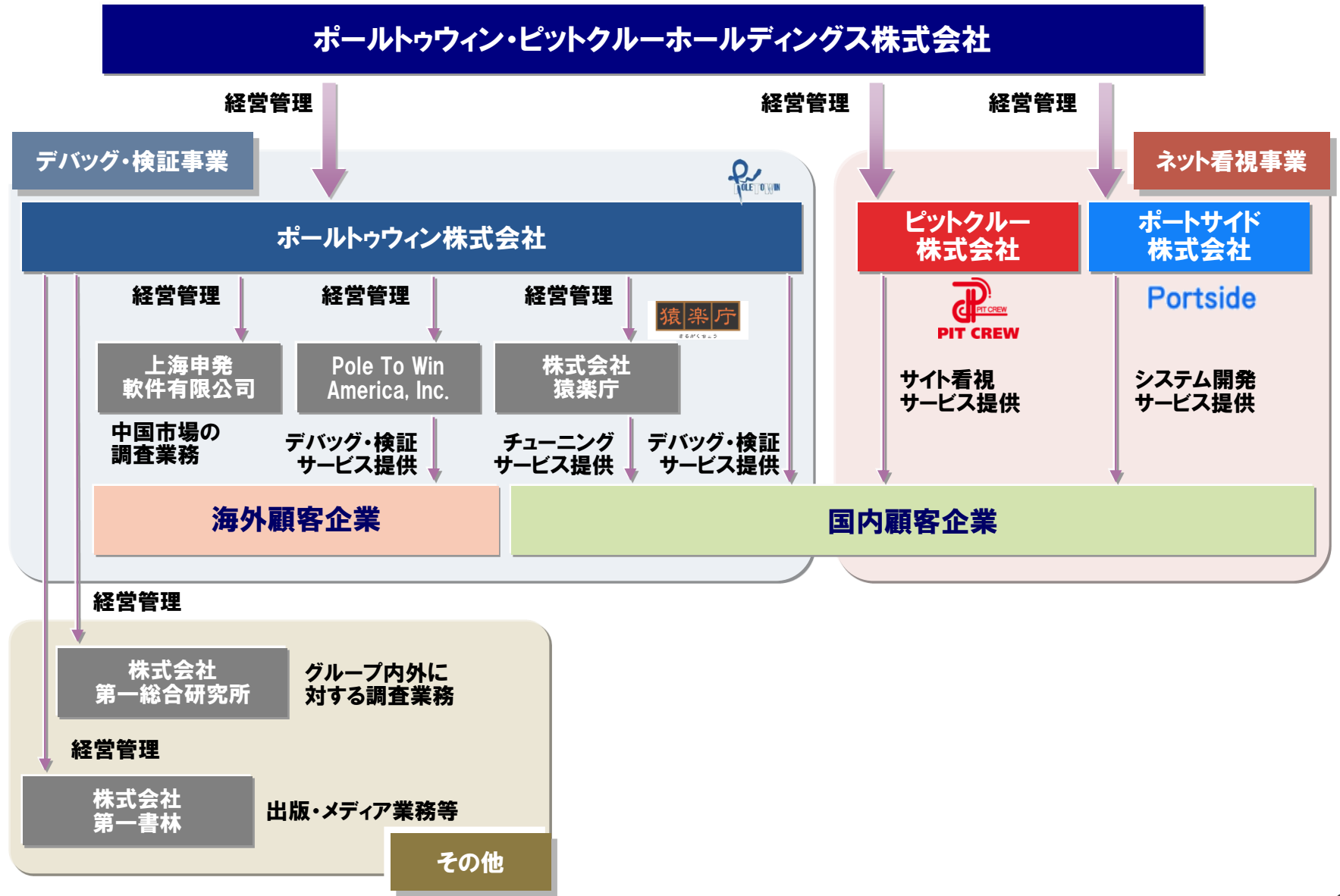
	2013/1期1Q末	2012/1期末	増減
流動資産合計	5,022	4,922	100
(うち現金及び預金)	3,663	3,733	△70
有形固定資産	108	108	0
無形固定資産	44	47	△3
投資その他の資産	342	337	5
固定資産合計	494	493	0
資産合計	5,517	5,415	101
流動負債合計	1,064	1,027	36
固定負債合計	38	34	3
負債合計	1,102	1,062	39
純資産合計	4,414	4,353	61
(うち資本金)	712	712	—
(うち資本剰余金)	758	758	—
(うち利益剰余金)	2,953	2,887	66
負債純資産合計	5,517	5,415	101

2-1. 会社概要

会社名	ポルトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社	
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 小西 直人	
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-4-1	
設立	2009年2月2日	
資本金	7億1,240万円(2012年4月30日現在)	
事業内容	当社及び連結子会社8社で構成されるグループ全体の事業活動の支配・管理及びこれに付帯または関連する業務。 【当社グループの主な事業】 1.デバッグ・検証事業 ソフトウェア・ハードウェアの品質向上のサポートをするため、不具合の検出を行う事業 2.ネット看視事業 インターネットサイトの健全運営をサポートするために、違法有害情報や不正の検出を行う事業 3.その他事業 市場調査、出版・メディアに関する事業	
連結業績 (2012/1期)	売上高 :83億6,422万円 経常利益 :12億8,075万円 当期純利益: 6億5,189万円	連結従業員数:905人 (内正社員数 341人)



2-2. グループの構成



2-3. 事業セグメント

デバッグ・検証事業

デバッグ・検証とは

ソフトウェアのプログラムが設計・仕様どおりに動作するか、意図しない現象が発生しないか等を確認・報告

- ① デバッグサービス：主に家庭用ゲーム、モバイルコンテンツ等向け
- ② 検証サービス：主にIT家電等に対する動作検証作業
- ③ 翻訳サービス：海外のゲームユーザーに魅力を伝える高品質な翻訳

ポルトゥウィン株式会社

Pole To Win America, Inc.

株式会社猿楽庁

上海申発軟件有限公司

ネット看視事業

ネット看視とは

インターネットサイトを健全に運営し、利用者が安心できるように、違法有害情報や不正利用を検出・排除

- ① ネット看視サービス：インターネットサイト看視に関するサービス
- ② ユーザーサポートサービス：電話やメールによる問い合わせへの返信対応等

ピットクルー株式会社

ポートサイド株式会社

その他事業

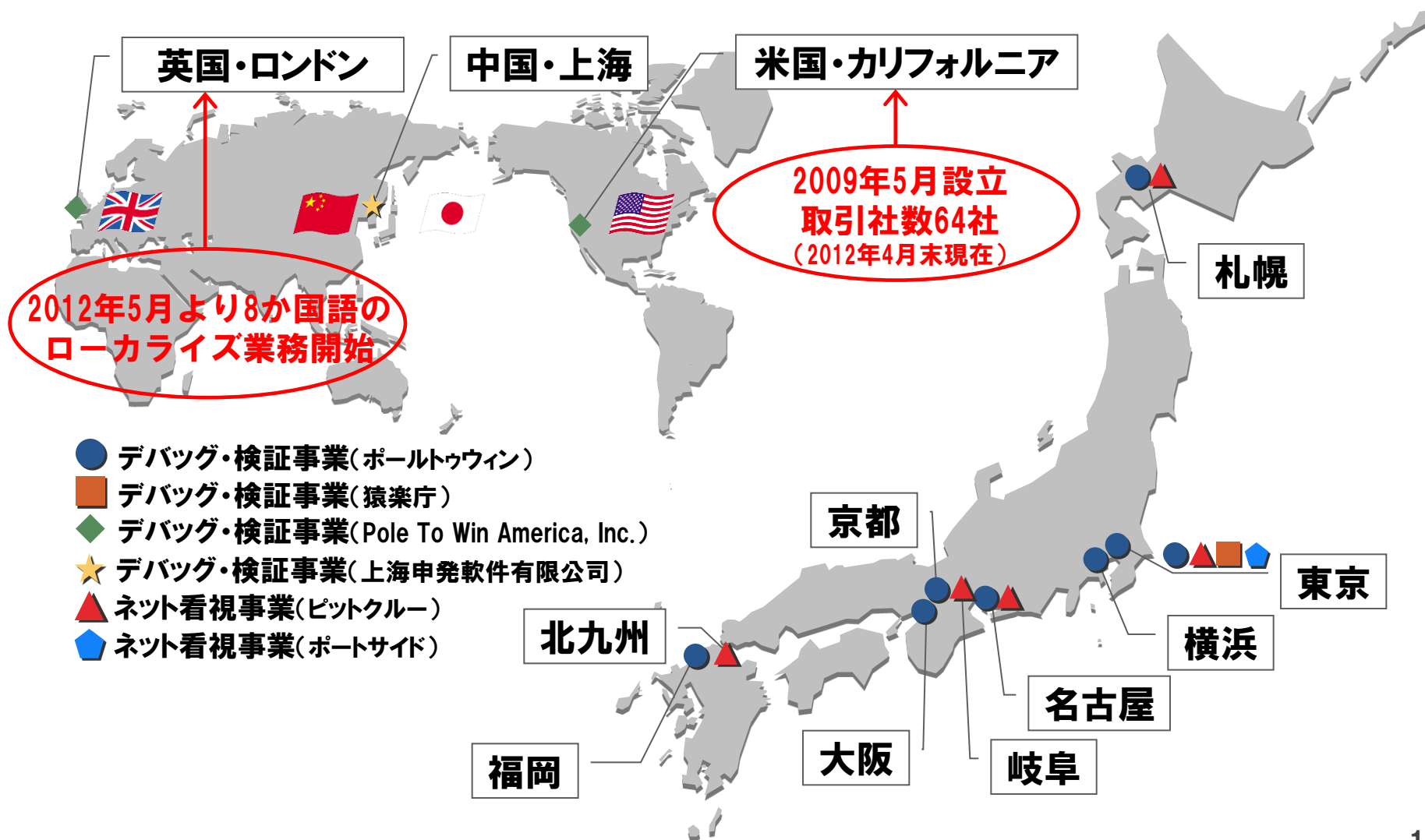
グループ内外の市場調査、グループ内外の出版・メディアに関する事業

株式会社第一総合研究所

株式会社第一書林

2-4. 事業拠点

■ 国内15拠点、海外3拠点で事業展開

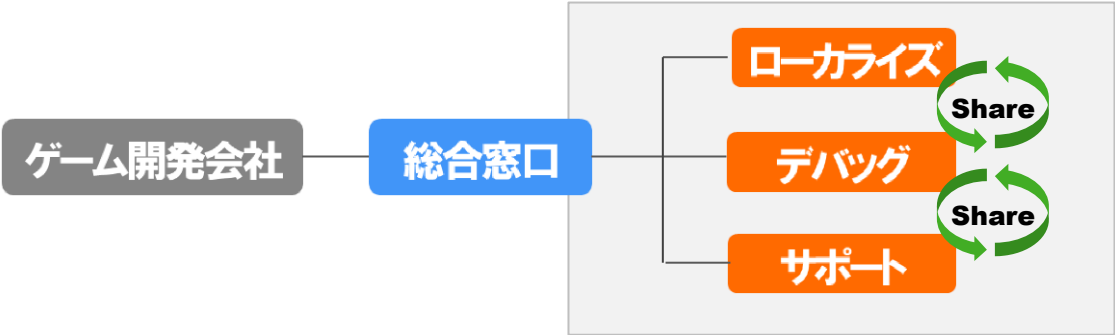


3-1. 今後の事業戦略のポイント

- 1** 各々の**市場**が**融合**し、**ソーシャルネット**の成長に合わせた**新しいビジネス**が誕生
- 2** 多様な形で成長するゲーム業界で**北米**及び**欧州市場**へ進出
- 3** 新たなネットビジネスに「**システム**」と「**有人**」を組み合わせた**看視ニーズ**の高まり
- 4** 人の力を最大限発揮する**総合ソリューション力**と**システム**の最大限の**活用**による**付加価値UP**

3-2. ソーシャルネットの成長に合わせた新ビジネス

「グローバルナビゲート」 2012年3月より提供中
ゲーム開発会社の海外展開を支援するパッケージソリューション



- ゲーム開発会社のメリット**
- 1) 窓口の一元化
 - 2) 契約手続きの簡略化
 - 3) システムを使い各サービス間で情報連携が可能
 - 4) 日本・米国・英国で提供可能

グローバルナビゲートのサービス領域（ソーシャルゲームの場合）

海外向けコンテンツの開発から運用までをワンパッケージで支援	
業務プロセス	開発フェーズ
	リリース準備フェーズ
当社のサポート領域	運用フェーズ
 	ローカライズ (翻訳・フォースグループ)
	デバッグ (プラン作成・動作検証)
	ユーザーサポート (テンプレート・FAQ作成)
	ホスティング (サーバーアラート監視)

3-3. 看視の裾野を広げる新たな試み

- ピットクルーにて、**トレーサビリティソフト管理システム**を構築中。
今後、生産装置稼働状況看視・支援システムの構築も検討中。

物作り支援、製品の品質(信頼性)向上をサポート

幅広い業種・業界の企業への導入を促進
看視事業の裾野を広げる

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。